

**「養豚一貫」「採卵鶏」は価格高で増収増益
「稲作」「茶」「肉用牛肥育」は個人、法人とも減益**

— 日本公庫・平成25年農業経営動向分析結果 —

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、毎年ご融資先の農業者の決算データを基に、経営部門ごとにその動向を分析しています。

平成 25 年の決算データ（対象 6,533 先）を分析した結果、部門別で養豚一貫、採卵鶏は販売価格高に支えられ増収増益となりました。一方で、稲作、茶は販売価格安、天候不順等により、また、肉用牛肥育はコスト上昇等により個人、法人とも減益となりました。

<調査結果のポイント>

○ 耕種部門では主力の稲作が米価安響く

稲作は、25 年産米の作柄は収量、品質ともにほぼ前年と同水準だった一方、米価が 24 年産に比べて 1 割ほど安い価格で推移したことなどにより、個人、法人ともに減収減益となった。

茶は、25 年産の一番茶の生産量が天候の影響で前年を下回ったことや一部生産地で価格が前年を下回ったことなどにより、個人、法人ともに減収減益となった。

露地野菜は、たまねぎの価格が 25 年 9 月以降、前年を上回る価格で推移したことなどにより、北海道の個人経営では増収増益となった一方、都府県の個人経営は売上高、所得ともほぼ前年と同水準となった。

○ 畜産部門は養豚、採卵鶏が増収増益、肉用牛は素畜費高など響く

養豚一貫は、25 年の豚肉卸売価格が前年を上回る価格で推移したため、個人、法人とも 1 割超の増収となり、利益も大幅に増加した。

採卵鶏は、鶏卵価格が 25 年 8 月以降高値で推移したため、個人、法人とも 1 割超の増収となり、収支も大幅に改善し、黒字転換となった。

一方、肉用牛肥育は牛肉卸売価格が全品種とも前年を上回る価格で推移したため、個人、法人とも小幅ながら増収となったものの、飼料費や素畜費等の材料費が増加したため、個人、法人とも減益となった。

分析対象先：農業を営む日本公庫のご融資先のうち 6,533 先（個人 4,971 先、法人 1,562 先）
対象経営部門（農業収入の第 1 位部門で区分）

①耕種 8 部門：稲作、北海道畑作、果樹、露地野菜、施設野菜、施設花き、茶、きのこ

②畜産 5 部門：酪農、肉用牛肥育、養豚一貫、採卵鶏、ブロイラー

対象決算期：平成 23 年～25 年までの 3 か年を経年比較

法人は各年 12 月～翌年 3 月が決算期のもの

平成25年農業経営動向分析(耕種)

経営部門		個人経営			法人経営			概要	
		サンプル数	売上高	農家所得(専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益		
耕種	稲作	北海道	55	↓ ▲ 9.7%	↓↓ ▲ 26.3%	624	→	↓↓	25年産米の作況指数は「102」となり、前年産とほぼ同水準となった。一方、25年産の米価が24年産に比べて1割ほど安い価格で推移したことなどにより、個人、法人ともに減収減益となった。
		都府県	1,451	→ ▲ 1.1%	↓ ▲ 12.3%		▲ 0.6%	▲ 31.0%	
	北海道畑作		39	↓ ▲ 5.9%	↓↓ ▲ 20.0%	32	↑ 6.3%	↑↑ 864.0%	25年産の作柄は、小麦、大豆、春植え馬鈴薯、てん菜の4品目すべてで前年を下回ったことなどにより、個人では減収減益となった。一方、法人は利益水準が低いながらも増益となった。
	果樹		336	→ ▲ 0.9%	→ ▲ 9.7%	31	↑ 7.9%	→ 百万円未満	個人は売上高、所得ともにほぼ前年と同水準となった。また、法人についても利益はほぼ前年と同水準となった。
	露地野菜	北海道	66	↑ 9.4%	↑ 16.7%	41	→	↑↑	たまねぎの価格が25年9月以降、前年を上回る価格で推移したことなどにより、北海道の個人経営では増収増益となった一方、都府県では売上高、所得ともほぼ前年と同水準となった。また、法人では利益水準が低いながらも増益となった。
		都府県	311	→ 3.1%	→ 2.1%		4.2%	629.5%	
	施設野菜		620	→ 1.7%	→ ▲ 4.9%	45	↑ 5.3%	→ 百万円未満	個人は売上高、所得ともにほぼ前年と同水準となった。また、法人についても利益はほぼ前年と同水準となった。
	施設花き		278	→ 1.0%	→ 1.0%	32	→ 2.1%	→ 百万円未満	個人、法人ともに、売上高、所得(利益)ともほぼ前年と同水準となった。
	茶		181	↓ ▲ 8.0%	↓↓ ▲ 34.4%	47	↓ ▲ 9.9%	↓↓ ▲ 61.5%	25年産の一番茶の生産量が天候の影響で前年を下回ったことや一部生産地で価格が前年を下回ったことなどにより、個人、法人ともに減収減益となった。
	きのこ		35	→ 1.6%	→ 百万円未満	21	↑ 6.1%	↑↑ 133.4%	個人は売上高、所得ともにほぼ前年と同水準となった。法人は生産量の増加やきのこ価格の回復等により増収となり、利益も大幅に増加した。

・前年比(売上高) ↑↑ :10%以上増 ↑ :5~10%増 → :±5%増減 ↓ :5~10%減 ↓↓ :10%以上減

・前年比(所得・利益) ↑↑ :20%以上増 ↑ :10~20%増 → :±10%増減 ↓ :10~20%減 ↓↓ :20%以上減

注: 所得・利益については、増減幅が百万円未満の場合は上記によらず → とした。また、黒字転換の場合は ↑↑、赤字幅縮小の場合は ↑ とした。

平成25年農業経営動向分析(畜産)

経営部門		個人経営			法人経営			概要	
		サンプル数	売上高	農家所得(専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益		
畜産	酪農	北海道	82	↑ 5.3%	→ 1.2%	86	→ 4.7%	↑↑ 78.1%	飲用向け乳価や一部加工乳向け乳価が25年10月から引き上げとなったことなどにより、個人、法人とも5%程度の増収となった。収支については、個人は材料費を中心に経費が増加し、所得はほぼ前年と同水準となった一方、法人は北海道では増益、都府県では減益と明暗が分かれた。
		都府県	832	→ 4.6%	→ 1.8%	154	→ 4.9%	↓ ▲18.5%	
	肉用牛肥育	465	→ 3.8%	↓ ▲14.7%	112	→ 1.6%	↓↓ ▲30.0%	25年の牛肉卸売価格が全品種とも前年を上回る価格で推移したため、個人、法人とも小幅ながら増収となったものの、飼料費、素畜費等の材料費が増加したことから、個人、法人とも減益となった。	
	養豚一貫	154	↑↑ 15.6%	↑↑ 89.7%	204	↑↑ 10.1%	↑↑ 1365.5%	25年の豚肉卸売価格が前年を上回る価格で推移したため、個人、法人とも1割を超える増収となり、利益も大幅に増加した。	
	採卵鶏	37	↑↑ 11.7%	↑↑ 黒字転換	106	↑↑ 12.3%	↑↑ 黒字転換	25年の鶏卵価格が8月以降高値で推移したため、個人、法人とも1割を超える増収となり、収支も大幅に改善し、黒字転換となった。	
	ブロイラー	29	→ 4.2%	↓↓ ▲27.3%	27	→ 1.2%	↑ 赤字幅縮小	25年の鶏肉価格がもも肉、むね肉ともに前年を上回る価格で推移したため、個人、法人とも小幅ながら増収となった。収支については、個人は材料費を中心に経費が増加したことにより、減益となった。一方、法人は赤字幅を縮小したものの、赤字継続となった。	

・前年比(売上高) ↑↑ : 10%以上増 ↑ : 5~10%増 → : ±5%増減 ↓ : 5~10%減 ↓↓ : 10%以上減
 ・前年比(所得・利益) ↑↑ : 20%以上増 ↑ : 10~20%増 → : ±10%増減 ↓ : 10~20%減 ↓↓ : 20%以上減

注: 所得・利益については、増減幅が百万円未満の場合は上記によらず → とした。また、黒字転換の場合は ↑↑、赤字幅縮小の場合は ↑ とした。

個人経営における平成25年収支状況

個人経営												
経営部門		サンプル数	経営規模			売上高(百万円)			農家所得(専従者給与控除前)(百万円)			
			単位	24年	25年	24年	25年	増減率	24年	25年	増減率	
				A	B	A	B	((B/A)-1)*100	A	B	((B/A)-1)*100	
耕種	稲作	北海道	55	水稲作付面積(ha)	14.3	14.2	32.6	29.4	▲9.7%	11.2	8.2	▲26.3%
		都府県	1,451		12.1	12.7	26.5	26.2	▲1.1%	8.3	7.2	▲12.3%
	北海道畑作		39	経営耕地面積(ha)	40.4	40.4	45.6	42.9	▲5.9%	10.6	8.5	▲20.0%
	果樹	北海道	336	第1位品目作付面積(ha)	2.3	2.4	16.0	15.9	▲0.9%	5.4	4.9	▲9.7%
			66		9.3	9.5	39.9	43.7	9.4%	12.1	14.1	16.7%
	露地野菜	都府県	311	第1位品目栽培面積(千㎡)	3.6	3.7	34.7	35.8	3.1%	10.4	10.6	2.1%
			620		5.8	6.0	30.9	31.4	1.7%	8.9	8.4	▲4.9%
	施設野菜		278	第1位品目収穫量(t)	5.8	5.9	37.4	37.8	1.0%	7.5	7.6	1.0%
施設花き		181	6.0		6.0	31.9	29.3	▲8.0%	6.7	4.4	▲34.4%	
茶		35	43.9	44.2	32.6	33.1	1.6%	4.3	5.1	17.8%		
きのこ		29	58.5	60.6	126.6	132.0	4.2%	9.2	6.7	▲27.3%		
畜産	酪農	北海道	82	成牛頭数(頭)	97.1	98.5	87.3	91.8	5.3%	10.6	10.7	1.2%
		都府県	832		65.2	66.4	68.8	72.0	4.6%	6.4	6.5	1.8%
	肉用牛肥育		465	飼養頭数(頭)	254.8	255.8	126.6	131.4	3.8%	15.1	12.9	▲14.7%
	養豚一貫		154	繁殖雌豚頭数(頭)	143.0	142.7	95.2	110.0	15.6%	5.9	11.2	89.7%
	採卵鶏		37	飼養羽数(千羽)	40.4	40.8	116.5	130.1	11.7%	▲0.3	6.1	黒字転換
	ブロイラー		29		58.5	60.6	126.6	132.0	4.2%	9.2	6.7	▲27.3%

法人経営における平成25年収支状況

法人経営												
経営部門		サンプル数	経営規模			売上高(百万円)			経常利益(百万円)			
			単位	24年	25年	24年	25年	増減率	24年	25年	増減率	
				A	B	A	B	((B/A)-1)*100	A	B	((B/A)-1)*100	
耕種	稲作		624	水稲作付面積(ha)	28.2	28.7	61.6	61.2	▲0.6%	8.8	6.1	▲31.0%
	北海道畑作		32	経営耕地面積(ha)	79.0	79.5	84.6	90.0	6.3%	0.2	2.0	864.0%
	果樹	北海道	31	第1位品目作付面積(ha)	10.6	10.8	98.4	106.3	7.9%	2.1	1.6	▲24.3%
			41		11.3	12.0	102.5	106.8	4.2%	0.5	3.3	629.5%
	露地野菜		45	第1位品目栽培面積(千㎡)	12.6	12.7	108.1	113.8	5.3%	▲0.5	▲0.6	赤字幅縮小
	施設野菜		32		10.0	10.1	91.5	93.5	2.1%	▲1.2	▲0.9	赤字幅縮小
	施設花き		47	茶園面積(ha)	23.4	23.5	123.3	111.0	▲9.9%	6.2	2.4	▲61.5%
	きのこ		21	第1位品目収穫量(t)	546.6	560.4	351.7	373.0	6.1%	9.5	22.2	133.4%
畜産	酪農	北海道	86	成牛頭数(頭)	261.1	272.1	223.3	233.9	4.7%	6.6	11.8	78.1%
		都府県	154		177.9	182.3	194.1	203.6	4.9%	5.9	4.8	▲18.5%
	肉用牛肥育		112	飼養頭数(頭)	1,220.3	1,185.6	576.7	585.6	1.6%	45.9	32.1	▲30.0%
	養豚一貫		204	繁殖雌豚頭数(頭)	612.6	610.7	467.5	514.5	10.1%	0.9	13.1	1365.5%
	採卵鶏		106	飼養羽数(千羽)	240.0	242.7	760.6	854.0	12.3%	▲3.5	27.7	黒字転換
	ブロイラー		27		205.2	208.0	600.7	608.2	1.2%	▲8.3	▲3.0	赤字幅縮小

注1) 経営規模、売上高、農家所得及び経常利益は経営部門毎の平均値を記載

注2) 増減率はラウンドの関係で数値が合わない場合がある